

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2021
07
2021年6月 第238号



子どもたちが縄跳びで遊んでいます!(カンボジア)

皆様の尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

5月の下旬に、今回で20回目となる総会が行われました。

今回も、前回同様、コロナ対策としてオンラインでの総会となりましたが、全ての議案が無事承認され、2021年度の事業計画が本格的に動き始めるかたちとなりました。

世界規模でのコロナ渦の中、子供達をケアすることにおいては、不測の事態が生じること十分考えられます。

ただ、どのような案件であっても、子供達のいのちを第一に、と思っております。

これからさらに、ケアを必要とする子供達の数は増えてくると思われます。

どうかこれからも、皆様の御支援、御協力、何卒宜しくお願い致します。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 北野 直人

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。学校は今年2月から休校が続いている中で子ども達は在宅のまま前期試験を受けました。試験の結果はまだ出ていませんが、コロナ禍の中で学んでいる子ども達が、今年も全員進級できるようにと祈っています。6月1日はカンボジアの子どもの日でした。出掛けられない子ども達の為に、美味しいものを作って子どもの日をお祝いしました。お正月はカンボジアのカレーを作ったので、子どもの日は子ども達も大好きな日本のカレーを作って、みんなとても喜んでくれました。カンボジアでもコロナの感染拡大が止まらないという状況なので、現在(6/10)ワクチン接種がドンドンと勧められています。まずはプノンペンからということで、孤児院のある地区でも接種希望者は申請するようにという連絡があり、スタッフ達全員と3人の子ども達の申請を行いました。接種後の状況を見つつ、他の子ども達の為のワクチン接種申請もこれから行って行く予定です。病気の子も達や18歳以下の子ども達もいますので、全員が必要な対応が受けられるようにと願っています。



子どもの日に日本のカレーを作りました

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

2020年～2021年の学年はコロナの影響でスタートが大幅に遅れ、昨年(2020年)の10月5日から始まりました。今学年は2021年の7月30日、または8月の第1週で修了になる予定です。皆様のご支援によって、子どもたちが勉強を続けられていることを心から感謝しています。オンラインとモジュールの授業を通して彼らは、最初は戸惑いつつも、新しい教育システムに順応していています。感染からの守りと保護者が近くで子どもたちの勉強を見守れると言う意味でも、この教育システムは良いと感じています。就学支援生は全員感染から守られ元気に過ごしています。ただ残念な事に私たちのスタッフの一人でスアワンの高校の教師をしているグレイスの息子がコロナ陽性となり、家族も自宅待機となりました。家族も全員PCR検査を受けましたが、奇跡的に全員陰性で感染者はいませんでした。また、最近になって未着だった8台のPCの内、2台が届きました。残り6台も必ず届くと信じて待っています。皆様のおかげで子どもたちの未来は希望に満ちたものに変えられています。今後とも、フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



スタッフのグレイス(右から2番目)とスアワン就学支援生たち

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の尊いご支援に、心より感謝申し上げます。先日、悲しい事に、生徒のひとりであるオベリーの母親が、心臓病の悪化により天に帰られました。オベリーは両親とも失った事になります。20代の叔母さんに預けられていますが、その叔母さんも無職。叔母さんの旦那さんが、非常に不安定で安価な賃金で一家を支えている状況です。ひょっとしたら、別の親戚の所に預けられる事になるかもしれないし、その家も学校に通わせるお金がないかもしれない。そうしたらオベリーはどうなってしまうのか...色々と考えながら、今後の動向を見守っているところです。このようなケースを知るにつけ、やはり孤児院ハウスの必要を痛感します。土地を購入し、このような孤児院たちが安心して暮らし、継続して勉強できる環境作りを出来る限り早急に目指したいと考えております。しかし年内の目標としては、今ある製粉場を取り壊し、3つの教室を建てる事です。約70万～80万円の見積もりが出ています。より多くの孤児たちを受け入れて行くことができますように、どうぞ皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。



教室予想図

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をいつもありがとうございます。一時帰国して4か月がたちました。実家で家事手伝いをして、楽しく慌ただしく毎日を過ごしています。ブラジルでもやっていた家庭菜園を最近また始めました。ブラジルでは種から蒔いて一度も育たなかったキュウリを苗を買って植えたら、もう収穫できました。先日は、5月29日に第20回礎の石孤児院定例総会が行われ、私もオンラインで参加することができました。Google Meetは何度か使ったことがありましたが、大勢の参加者でそれぞれが発言の機会が与えられるようなウェブ会議に参加したのは初めてで、とても緊張しました。しばらく会っていなかった方々のお顔も拝見できて、とても嬉しかったです。新型コロナウイルス感染拡大が深刻なブラジルでは、親世代の死者数が非常に多く、ケアが必要な多くの子供たちがいることをお伝えしました。さらなる皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



家庭菜園のなすと松本スタッフ